

令和6年度 6学年授業改善プラン

大田区立矢口小学校

1. 昨年度の授業改善プランの検証

【国語】基礎的な言語能力の定着は進んでいるが、「書く」表現力について力を付ける必要がある。

【社会】資料から必要な情報を正確に読み取る読解力に課題がある。

【算数】ICT 機器や具体物の活用、単元導入方法を学習内容に応じて工夫したが、まだ理解が不十分な児童が一部にいる。分数、小数の基礎的な計算力が一部の児童はまだ定着していない。

【理科】根拠のある予想を立てたり、問題の解決方法を考え、叙述したりすることができるようになってきたが、実験結果やグラフの読み取りが苦手な児童が多い。

2. 大田区学習効果測定の結果

教科	国語			社会			算数			理科			外国語(英語)		
全体	◆			▽			◆			▽			◆		
観点別	◎	◆	◆	▽	◆	◆	◆	◆	▽	▽	◆	◆	◆	◆	◆
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									

◎ 正答率平均が目標値を上回った教科・観点

◆ 正答率平均が目標値と同程度の教科・観点

▽ 正答率平均が目標値を下回った教科・観点

3. 各教科の授業改善プラン

(1) 国語・社会・算数・理科

【国語】自分の意見や考えを表出できるよう、意見文や感想文を書く活動をより充実させることに加え、振り返り等で決まった文字数以内で書く習慣をより定着させていく。また、段落分けや構成、接続語など、文章をわかりやすく表現するための知識を身に付け、児童同士でアドバイスをしあう活動を通して書きたいことがわかりやすく伝わるように指導を行う。

【社会】社会的用語を正しく押さえた上で、ジグソー学習や、ワールドカフェ形式での発表を取り入れて、児童が主体的に学習に取り組めるように指導していく。また、ICTを活用して発表用のスライドを作成したり、台本を読む練習をしたりすることを協働的に学習できる機会を多くもたせていく。また、自分が興味をもった歴史的事象には深く学べるように教材を準備していく。そして、社会を学習することに対して楽しさをもって中学校に進学できるように配慮していく。

【算数】毎時間の導入、もしくはまとめの時間に、基礎・基本的な計算問題に取り組む。また、隙間の時間に、分数や小数の四則演算を中心とした、基礎・基本的な計算問題を教科書やタブレット学習等で繰り返し行い、既習事項の定着を図る。

【理科】科学的思考を働かせて問題解決を行えるよう、生活と関連付けた予想、比較、関連付け、条件を制御するなどし、多面的に考えられるよう授業改善を図る。児童が、内容領域ごとの視点を理解

し、知識・技能を習得できるよう、実験を通じた体験学習の充実を図ることや単元終了後も繰り返しプリント等で復習を行う。

【英語】 基礎的な学力は身につけているが、単語や表現の仕方を発音と共に繰り返し練習する場を毎時間必ず設定することで、自信をもって英語表現できるようにする。また、あいさつや気持ちを表す表現といった会話的表現を話せるように授業の始めの活動をパターン化する。一人一人が楽しんで授業に参加できるように、チャンツやゲーム活動を取り入れるなど学習形態を工夫する。

(2) 音楽・図画工作・体育

【音楽】 ㊦

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人一人の実技における技能の差が見受けられる。 ○合唱や合奏など協働学習の場面を多く取り入れることによって、相互に各自の技能を伸ばす。	◆既習事項を生かした発展的な発想を広げていきたい。 ○ICTコンテンツを教科書会社供給のものを中心に使用する。	◆個人の学習成果を協働的学習に活用する必要がある。 ○学級の児童数を活かし、音楽活動に取り組む楽しさを共有する活動を増やす。

【図画工作】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人一人の実技における技能の差が見受けられる。 ○実技の指導時にICT機器を活用し視覚的に分かりやすい指導を行う。また、児童の振り返りシートを活用し見通しを持たせる。	◆発想力や表現力の差が見受けられる。 ○今までに学んだ表現方法を深めたり組み合わせたりと、よく考えて作品作りに取り組めるよう、題材の選定や、ワークシートの活用をする。	◆領域により、苦手意識を感じている児童が見受けられる。 ○作品の完成後に行う鑑賞の時間を取り、自他の作品の良さや作品に込められた思いを知り、一人一人がつくりだす喜びを味わう機会にする。

【家庭科】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆袋物の作成にあたって、学習の見通しをもつことが難しい。 ○振り返りシートなどを活用し、見通しをもたせる。	◆袋物の作成にあたって、問題を見だし、課題を設定させることが難しい。 ○グループワークを活用し、様々な解決方法を見いださせる。	◆家族の一員として、生活をより豊かにするための袋物の製作に対して意欲を高めさせたい。 ○実体験を十分に振り返らせる。

【体育】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人ひとりの技能の差が大きくなってきた。 ○自分の動きを客観的に捉えられるよう、ICT機器を活用する。	◆めあての設定レベルが自分に合っていない児童が見られる。 ○児童の個々の実態に合っためあてが立てられていたかどうか、振り返りを毎時間必ず行う。	◆運動領域により、苦手意識を感じている児童が見受けられる。 ○個別最適な学びを行い、様々な運動に親しみながら体力の向上が図れるように、ICT機器を活用する。

